

# 人事



## 多古町職員の給与・人事

地方公務員法第58条の2の規定により、町職員に関する人事行政運営等の状況を公表します。

お問い合わせ ● 総務課庶務係 ☎76-2611

### 1 採用・退職者数

平成23年度中に採用および退職した職員の状況は次のとおりです。

区分	採用者数	退職者数
町長部局等	6人	3人
教育委員会	1人	1人
水道事業	1人	1人
病院事業	7人	6人
合計	15人	11人

※平成23年4月1日から平成24年3月31日の間に採用および退職した職員(再任用、千葉県からの派遣職員を含む)の数である。

### 2 勤務時間

平成24年4月1日現在の勤務時間は原則として次のとおりです。

開始時刻	休憩	終了時刻
8:30	12:00~13:00	17:15

※病院職員は、上記以外の勤務時間の割り振りによります。

### 3 職員の分限および懲戒処分の状況

平成23年度の分限処分および懲戒処分の状況は次のとおりです。

分限処分				懲戒処分			
降任	免職	休職	降給	戒告	減給	停職	免職
0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人

### 4 年次休暇

平成23年の年次休暇の取得状況は次のとおりです。

区分	平均取得日数	取得率
町長部局等	5.6日	14.4%
教育委員会	9.1日	22.9%
水道事業	8.4日	21.0%
病院事業	10.0日	26.2%

### 5 育児休業・部分休業・育児短時間勤務

平成23年度の育児休業、部分休業および育児短時間勤務の取得状況は次のとおりです。

区分	育児休業		部分休業		育児短時間勤務	
	男	女	男	女	男	女
町長部局等	0人	4人	0人	2人	0人	1人
教育委員会	0人	2人	0人	0人	0人	0人
水道事業	0人	0人	0人	0人	0人	0人
病院事業	0人	9人	0人	0人	0人	0人
合計	0人	15人	0人	2人	0人	1人

### 8 職員採用試験の状況

平成23年度に実施した職員採用試験の状況は次のとおりです。

職種	合格者数
一般行政職	1人
保育士職	2人

### 6 職員研修の状況

職員の公務能率の向上や能力開発を目的に、千葉県自治研修センターにおける課長研修、中堅職員研修等の階層別研修や所管事務の専門研修のほか、香取広域市町村圏事務組合における新任職員共同研修、初級職員共同研修、中級職員共同研修、待遇共同研修などに参加しています。

また、町独自の研修として、人事評価制度の導入に向けた評価者・被評価者研修を実施しています。

平成23年度は、延べ637人の職員が各種研修を受講しました。

### 7 職員の福祉および利益の保護の状況

職員の病気、負傷、出産、死亡等に関することや退職年金に関することについては、地方公務員法第43条の規定により共済制度が設けられることになっており、町職員は千葉県市町村職員共済組合に加入しています。

町では、職員の健康障害や疾病の早期発見のため、定期健康診断や生活習慣病予防検査を実施するとともに、福利厚生事業を行う職員組合へ役場944千円、病院1,144千円、また千葉県市町村職員互助会へ511千円を、厚生費として公費負担しています。(平成23年度)

### 9 千葉県市町村公平委員会からの報告

千葉県市町村公平委員会に対して、多古町職員からの「勤務条件に関する措置の要求」および「不利益処分に関する不服申立て」はありませんでした。

## 多古中央病院から

### 『インフルエンザとノロウイルス』

文/国保多古中央病院 内科 宇都宮隆法

冬になるとインフルエンザと下痢の患者数が増えますが、どちらも完璧な対策を取りづらいため、神経質に予防を考えず、ひとたび感染したらしっかりと食事を取り休息し、早めの治療を行うことが最善の対処だと思えます。

インフルエンザはインフルエンザウイルスの感染により、高熱と倦怠感を主体とした呼吸器症状と、時には腹部症状を発症します。受診する患者さんたちは「いつもの風邪とは違う気がする」とおっしゃる方が多く、それを参考にしながらインフルエンザ診断薬も使いつつ診断します。予防にはまず、食事で睡眠が乱れないようにして、人混みに出るときにはマスクを着用します。受験生や医療介護関係者であれば予防接種を受けていないと、思わぬ失敗を招くことになります。



ポイント

インフルエンザなのに吐き気と下痢症状が出るなんて思いもしなかった。



意識を持っておくことは必要だと思います。

【病院便り】

しかし、予防接種をしても運が悪ければインフルエンザに感染することがあり、十分に食事と水分摂取を行い、感染の状況に応じては薬を使用したほうがいい場合があります。ノロウイルスは激しい下痢を引き起こし、もしも水分が取れない状況に陥ったら、脱水症状から命取りになります。しっかりと手を洗い、患者さんが触ったものをよくふき取ることが予防対策として大切ですが、

多古中央病院の受付時間は、午前11時30分までとなっています。急患に限り時間外も受け付けています。設備と人員の関係上、適切な医療機関への紹介をさせていただく場合があります。近隣の医療機関を受診されている方で当院を受診する際には、お薬手帳など投薬内容が確認できるものを持参してください。



### 『神様のカルテ』

「私の一冊」



本植人:佐藤百合子さん(志代地)

この本は緊張感のある医療現場の実態と、妻ハルやアパート住人とのつながり、信州の美しい自然と過ごすゆったりとした日常を描いた感動小説です。一止は、年中無休の病院で結婚記念日も妻と過ごせないほど忙しい毎日を送っていました。また悲しむことが苦手で「救っても救つても命がこぼれ落ちていく」と何もできない自分を、無能・無力だと責めることも。そんな時、末期がん患者の安曇さんに出会います。

本の中の医療に限らず、日常にあるどんな仕事も大変なことはたくさんあります。その仕事を一つ一つ大切に取組むことで、平凡でも幸せな毎日が送れる事に感謝できます。そんな事に気づかせてくれた一冊でした。「ねえ、最近読んだ本で面白いのがない」と図書室の方に尋ねるのが私の口癖です。活字中毒の私は、ジャンルを問わず本を読んでいます。読書の魅力は自分の中で景色や登場人物を想像したり、家に居ながらいろいろな世界を知ることができることだと思います。皆さんも図書室を活用して世界を広げてみてはいかがでしょうか。そしてお勧めがあればぜひ私にも紹介してください。

## 30年目



『神様のカルテ』  
作:夏川草介  
発行:小学館

〈あらすじ〉

24時間365日の看板を掲げる地方病院に勤務する主人公栗原一止。過酷な医療現場では3日不眠で働くこともしばしば…。死期の近い患者とのふれあいを通して悩みつけた「本当の医療」とは。

今回紹介した本は、プラザ図書室に置いてあります。リクエストにもお応えしますので、お気軽にご利用ください。  
■コミュニティプラザ図書室  
☎79-3406  
開館時間:午前8時30分~午後5時  
【1月の休館日】毎週月曜日・祝日・2日~4日